



ドイツ連邦共和国大使館
東京



音楽祭
提携

第5回
秋田・潟上
国際音楽祭

躍動するベートーヴェン、

色彩に満ちた武満徹

Program

武満 徹
オーケストラのための「波の盆」
シューベルト＝リスト
「さすらい人幻想曲」 ピアノ 千田 桂大
ベートーヴェン
交響曲第7番 イ長調 作品92

仙台フィルハーモニー
管弦楽団 特別公演
vol.4

レインハルト・ジーハフアー
千田 桂大



11/14 2026 14:00開演
(13:00開場)

アトリオン音楽ホール

全席 指定	S席	A席	学生席	税込 価格
	5,500円	4,500円	1,000円	

ペアチケット S席2席

11,000円 → 10,000円

※ペアチケットの販売は
アートオフィスサイチ(千田佐市
商店)のみの対応となります。

主催 秋田・潟上国際音楽祭実行委員会
アトリオン音楽ホール

協力 アートオフィスサイチ

チケットのお取り扱い

秋田アトリオン事業部
さがけNewsCafe --- 番 018-874-8171
チケットぴあ Pコード 328051
アートオフィスサイチ(千田佐市商店)

・店頭・電話 ----- 番 018-874-9215
(水日祝日を除く8:30-17:00)

・公式LINE (24時間対応) ————

アートオフィスサイチLINEにて先行販売中



6月6日(土)
販売開始

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、プログラムに変更が生じる場合がございます。
※公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・
変更等はいたしかねます。

事務局 アートオフィスサイチ

☎018-874-9215

本物のベートーヴェンを聴く。

ベルリンの名門歌劇場コミッシェ・オーパー・ベルリンで鮮烈なデビューを飾り、
その後も欧州の歌劇場とオーケストラを長年率いてきたマエストロ、レインハルト・ジーハフアー。

40作品を超えるオペラ、800回以上の公演で磨いた手腕で、ベートーヴェン第7番を、
壮大な序奏にはじまり、第1楽章の劇的な高まりから終楽章の熱狂に至る、巨大なドラマとして描き出します。
武満徹《波の盆》、リスト＝シューベルト《さすらい人幻想曲》とともに贈る、濃密な午後。

ドイツを代表する指揮者、ピアニスト、現代クラシック音楽の作曲家であり、ザクセン＝アンハルト州のアルトマルクフェストシュピーレフェスティバルの創設者兼芸術監督である。

ライプツィヒ音楽大学在学中多くの国際コンクールで優勝しロルフ・ロイターに才能を見出され、首席卒業後、1976年から1982年まで、レインハルト・ジーハフアーは世界的巨匠ロルフ・ロイター氏とクルト・マズア氏に師事し、その後オートマル・スイートナー氏とレナード・バーンスタイン氏（ウェストサイドストーリー作者）に師事。1982年、彼はベルリンのコミッシェオペラ歌劇場でジャコモ・プッチーニの蝶々夫人でセンセーショナルなデビューを果たし契約を結んだ。1989年からゲルリッツ国立歌劇場の主任指揮者および芸術監督を務める。レインハルト・ジーハフアーは、異文化プロジェクト EUROPERA を共同設立し、1989年まで音楽監督兼首席指揮者を務める。ヨーロッパフィルハーモニーを2013年まで音楽監督を務める。

これまでにドレスデン州立歌劇場、ゲヴァントハウス管弦楽団、ワイマール国立歌劇場、ドレスデンフィルハーモニー管弦楽団、ロベルトシューマン・フィルハーモニー管弦楽団、ヤナー・チェクフィルハーモニー管弦楽団をはじめ、多くの世界を代表するオーケストラで指揮を務めている。また、オペラ指揮者としても、これまでに40以上の異なる約800の公演を行っている。

また、ドレスデン州立歌劇場、ワイマール国民歌劇場とゲヴァントハウス四重奏団の室内楽ピアニストとしてヨーロッパ各国のオペラハウスで演奏を行っている。

2010年に彼の並外れた芸術的業績に対してドイツ連邦共和国よりゲラート賞を受賞した。



レインハルト・
ジーハフアー

Reinhard Seehafer
指揮



千田 桂大
Keita Chida
ピアノ

秋田県潟上市出身。2006年秋田県立秋田高等学校卒業、桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻入学。

2008年、東京に来日中の世界的ピアニスト、エリック・ハイドシェックに認められ単身渡仏、内弟子として長年に渡りハイドシェック氏の薫陶を受ける。

2009年、急遽代役としてルーマニア国立管弦楽団と、ラヴェル「左手の為の協奏曲」、フランク「交響的変奏曲」を共演し、大成功を収める。また同年パリにて師ハイドシェックと同協奏曲を二台ピアノで共演、批評家に「コルトーの再来」と評される。2010年、同楽団創立60周年記念及びショパン生誕200年記念ニューイヤーコンサートにソリストとして招かれ「ショパンピアノコンチェルト第二番」を共演する。同年、第三回アラン・マリナロ国際ピアノコンクール第三位、聴衆賞及び現代音楽賞を受賞。2009年より毎年ベルピニャン音楽祭に出演し、2013年のリサイタルの際には地元新聞批評欄に「色彩の魔術師。しかしそのあらゆる音色が全て音楽に捧げられている」と評される。2021年世界三大ピアノであるベヒシュタイン本社とベヒシュタインアーティストとして契約。同9月1日付でチューリッヒに拠点を置くエージェントと世界契約を結ぶ。これまでにフランス、ドイツ、イタリア、スイス、ルーマニア、日本の各都市でコンサートを行っている。ピアノを平野節子、渡部知枝、大岩秀俊、ミハエル・ヴァスクレセンスキ、バスカル・ドヴァイヨン、干野宜大、木村徹、テオドル・パラシヴェスコの各氏に師事。現在、秋田潟上国際音楽祭の実行委員長兼アーティストティックディレクターを務め、秋田の文化を向上させるべく多岐に渡って活動を行っている。2024年7月末に、当音楽祭にも毎年来日するレインハルト・ジーハフアーの招待で、アルトマルク音楽祭に出演。

仙台フィルハーモニー管弦楽団 Sendai Philharmonic Orchestra

仙台フィルは、1973年に「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。1983年4月から芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、バスカル・ヴェロ、飯守泰次郎常任指揮者のもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2023年度に高関健が常任指揮者に就任、創立50周年を迎えさらに充実した活動を展開している。

2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届ける活動を行った。現在、日立システムズホール仙台コンサートホールでの定期演奏会のほか、「仙台国際音楽コンクール」「仙台クラシックフェスティバル（せんくら）」でも広く市民に親しまれ、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。



お問い合わせ

アートオフィスサイチ ☎ 018-874-9215

主催 秋田・潟上国際音楽祭実行委員会／アトリオン音楽ホール

協力 アートオフィスサイチ（株式会社千田佐市商店 文化事業部）

後援 秋田県／秋田県教育委員会／秋田市教育委員会／潟上市教育委員会／秋田商工会議所／秋田県商工会連合会／一般社団法人 秋田県芸術文化協会／公立大学法人 国際教養大学／公益財団法人 日本ピアノ教育連盟／公益社団法人 日本演奏連盟／一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）／ドイツ連邦共和国大使館

WEBサイト



ドイツ連邦共和国大使館
東京

